

ステージイベント ～福祉で働くステキな人たち～ 障がい者支援施設 白竹の里 様



『利用者さまと共に、自分も成長できる』
障がい者支援施設での日々のお仕事は、生活面の支援から、社会性の慎重につながるよう地域の行事に参加するなど様々です。まずは利用者さまと関係性を深めることが大切ということ。また、利用者さまの苦手なことをサポートして上手くできるように、考え工夫していることをエピソードを交えてお話させていただきました。

『多彩な技能や経験を持つ職員さんたち』
施設では、農耕園芸班や炭焼き班などに分かれて作業をします。各班では職員さんの技能や経験を活かし、利用者さまと共に作業を行い、職員も利用者さんと共に働く喜びを感じられるとお話させていただきました。また、コロナ禍を盛り上げるため、職員による火の舞などの企画も紹介されました。会場では、利用者さまたちがつくられた竹製品などを展示、参加者から「かわいい、ステキ」などの声も。



『職員さんたちの思い』
中継施設からは3名の支援員さんが、お仕事への思いを語ってくださいました。利用者さまの生活の場に立ち、支えることは大変で、難しさを痛感しますが、支援を行う中で利用者さまの笑顔が見られたときはやりがいを感じますとのこと。職員さんたちは日々学び、利用者さまのために何ができるか考え、支援が笑顔につながった時はやりがいを感じるという思いは共通でした。

支援の仕事は、多くの利用者さまと関わり一人ひとりと向き合い、それぞれ対応の仕方が違うところが大変。また人と人が接することなのでマニュアルはありません。他の職員と同じように接しても同じ反応ではないときも多くあり、自分の人間性を問われる場面もあります。でもどんな時でも利用者さまに敬意と思いやりをもって接していますとお話いただきました。